

4. 経済生活

(1) 主な収入源 (Q10)

主な収入源をみると、各国とも「公的な年金（国民年金、厚生年金など）」（日本 67.4%、アメリカ 53.5%、ドイツ 69.9%、スウェーデン 45.7%）の割合が最も高く、次いで「仕事による収入」（日本 20.8%、アメリカ 17.3%、ドイツ 16.2%、スウェーデン 15.8%）の割合が高くなっている。（図表 3-4-1）

図表 3-4-1 主な収入源

		n	仕事による収入	公的な年金（国民年金、厚生年金など）	私的な年金（企業年金、個人年金など）	預貯金などの引き出し	財産からの収入（利子、配当金、家賃、地代など）	子供などからの援助	生活保護	その他	無回答
日本	第1回	1,221	31.3	34.9	3.8	2.1	5.3	15.6	1.2	3.1	2.7
	第2回	1,134	24.5	53.4	1.9	2.2	5.6	9.0	1.1	1.9	0.4
	第3回	1,004	23.8	54.3	1.9	2.0	4.0	5.7	0.9	1.8	5.7
	第4回	1,183	21.6	57.1	1.7	2.4	2.5	4.2	0.3	2.4	7.9
	第5回	1,158	20.8	67.5	1.6	1.6	2.3	3.4	0.9	1.7	0.2
	第6回	842	17.7	73.9	1.0	1.0	1.9	2.5	0.5	1.5	0.1
	第7回	1,183	24.3	66.3	1.2	1.4	2.0	1.9	0.8	1.9	0.1
	第8回	1,105	23.4	70.8	1.1	0.7	1.1	0.8	1.0	1.1	-
	第9回	1,367	20.8	67.4	1.7	3.1	2.1	1.0	1.0	1.0	1.8
アメリカ	第1回	1,000	15.2	53.9	10.0	1.7	14.5	0.3	0.7	3.5	0.2
	第2回	1,007	14.1	53.0	10.4	1.8	17.4	0.2	0.4	2.4	0.3
	第3回	1,002	10.7	55.2	13.6	1.8	11.0	0.7	1.4	2.7	3.0
	第4回	998	15.5	55.5	13.3	1.5	8.5	-	0.3	1.6	3.7
	第5回	1,002	13.9	56.6	16.4	0.9	7.0	0.1	0.5	3.1	1.6
	第6回	1,000	19.8	54.7	10.1	2.8	9.8	0.5	0.4	1.0	0.9
	第7回	1,000	20.1	54.9	12.1	2.6	5.1	0.7	1.4	0.8	2.3
	第8回	1,003	22.5	55.0	12.5	2.8	3.5	0.7	1.2	1.6	0.2
	第9回	1,006	17.3	53.5	11.3	3.1	7.8	0.5	0.9	3.6	2.1
ドイツ	第1回										
	第2回										
	第3回	1,025	5.3	76.6	10.9	0.6	1.4	0.6	0.3	2.6	1.8
	第4回	1,000	4.6	77.0	10.1	1.6	2.0	0.2	0.6	1.7	2.2
	第5回	1,046	7.1	75.8	9.1	1.3	1.9	0.2	1.5	3.1	-
	第6回	1,023	10.2	76.9	4.0	0.8	2.2	0.4	1.5	0.7	3.3
	第7回	1,004	9.6	80.7	3.6	0.7	1.8	0.4	1.3	0.7	1.3
	第8回	1,008	10.3	77.2	3.3	2.3	2.2	0.5	1.4	2.3	0.6
	第9回	1,043	16.2	69.9	3.0	2.2	2.9	0.6	2.7	1.9	0.7
スウェーデン	第1回										
	第2回										
	第3回										
	第4回										
	第5回	1,001	11.8	80.1	1.9	0.6	0.2	-	2.9	2.2	0.3
	第6回										
	第7回	1,054	18.7	69.5	4.3	2.9	0.6	-	2.5	1.5	-
	第8回	1,000	16.7	72.6	4.4	0.5	0.5	0.1	2.3	2.9	-
	第9回	1,528	15.8	45.7	2.2	0.3	0.3	-	0.7	1.8	33.2

(2) 1か月当たりの平均収入額（税込）（Q11）

1か月当たりの収入の平均額についてみると、日本、ドイツ、スウェーデンでは「20万円～30万円未満（年額では240万円～360万円未満）」（日本28.5%、ドイツ23.5%、スウェーデン17.1%）もしくは「10万円～20万円未満（年額では120万円～240万円未満）」（日本26.3%、ドイツ26.4%、スウェーデン21.3%）の割合が高い。

一方、アメリカでは「60万円以上（年額では720万円以上）」（18.2%）の割合が最も高いが、それ以外では「10万円～20万円未満（年額では120万円～240万円未満）」（12.9%）から「40万円～50万円未満（年額では480万円～600万円未満）」（8.9%）の割合が1割前後で分散している。（図表3-4-2）

図表3-4-2 1か月当たりの平均収入額（税込）

(%)

	n	5万円未満 (年額では60万円未満)	5万円～10万円未満 (年額では60万円～120万円未満)	10万円～20万円未満 (年額では120万円～240万円未満)	20万円～30万円未満 (年額では240万円～360万円未満)	30万円～40万円未満 (年額では360万円～480万円未満)	40万円～50万円未満 (年額では480万円～600万円未満)	50万円～60万円未満 (年額では600万円～720万円未満)	60万円以上 (年額では720万円以上)	収入はない	無回答
		日本	第1回								
	第2回										
	第3回										
	第4回										
	第5回										
	第6回										
	第7回										
	第8回	1,105	2.4	11.9	30.5	30.2	11.2	9.3		1.0	3.5
	第9回	1,367	2.4	9.8	26.3	28.5	14.4	6.6	2.9	4.3	0.4
アメリカ	第1回										
	第2回										
	第3回										
	第4回										
	第5回										
	第6回										
	第7回										
	第8回	1,003	2.5	7.1	21.6	19.1	16.1	28.2		0.7	4.7
	第9回	1,006	2.5	4.3	12.9	12.3	9.6	8.9	5.8	18.2	0.9
ドイツ	第1回										
	第2回										
	第3回										
	第4回										
	第5回										
	第6回										
	第7回										
	第8回	1,008	0.8	4.9	29.2	24.9	15.5	13.3		0.8	10.7
	第9回	1,043	0.4	4.3	26.4	23.5	16.0	8.6	4.4	6.5	0.4
スウェーデン	第1回										
	第2回										
	第3回										
	第4回										
	第5回										
	第6回										
	第7回										
	第8回	1,000	0.1	1.0	16.4	26.4	17.1	38.6		0.4	-
	第9回	1,528	1.1	3.3	21.3	17.1	15.9	11.5	9.4	16.6	0.5

注) 第8回では、「50万円～60万円未満（年額では600万円～720万円未満）」、「60万円以上（年額では720万円以上）」の選択肢がなかった。

(3) 日々の暮らしに困ることの有無 (Q12)

経済的な意味で日々の暮らしに困ることの有無をみると、日本では、「困っている」の割合が8.5%で、「少し困っている」(25.3%)を合わせると、『困っている』の割合が3割を上回る。

欧米3か国では、「困っている」と「少し困っている」を合わせた『困っている』の割合は、アメリカ22.1%、ドイツ21.5%、スウェーデン13.5%である¹。(図表3-4-3)

図表3-4-3 日々の暮らしに困ることの有無

							(%)
		n	困っている	少し 困っている	あまり 困っていない	困っていない	無回答
日 本	第1回	1,221	3.5	10.2	26.0	59.1	1.1
	第2回	1,134	4.0	11.8	31.0	52.7	0.4
	第3回	1,004	3.4	15.6	41.8	38.4	0.7
	第4回	1,183	3.8	15.9	38.5	41.5	0.3
	第5回	1,158	6.0	17.6	38.0	38.3	0.1
	第6回	842	3.1	11.4	28.3	57.1	0.1
	第7回	1,183	4.6	12.6	27.3	55.5	-
	第8回	1,105	5.9	16.7	25.9	51.6	-
	第9回	1,367	8.5	25.3	32.6	31.0	2.6
ア メ リ カ	第1回	1,000	9.9	18.4	23.8	47.3	0.6
	第2回	1,007	4.8	13.0	21.1	60.6	0.6
	第3回	1,002	3.9	16.3	23.9	55.1	0.9
	第4回	998	4.5	24.8	25.7	44.3	0.7
	第5回	1,002	6.7	24.8	27.9	39.7	0.9
	第6回	1,000	3.9	23.7	36.1	36.1	0.2
	第7回	1,000	8.0	29.1	31.7	31.2	-
	第8回	1,003	6.3	25.2	32.0	36.3	0.2
	第9回	1,006	3.8	18.3	22.1	55.0	0.9
ド イ ツ	第1回						
	第2回						
	第3回	1,025	1.5	5.7	24.8	67.9	0.2
	第4回	1,000	1.8	6.3	28.2	63.0	0.7
	第5回	1,046	3.2	16.2	46.6	34.1	-
	第6回	1,023	6.2	23.7	36.8	33.3	0.1
	第7回	1,004	5.6	17.9	37.3	38.4	0.8
	第8回	1,008	4.1	18.8	31.0	46.0	0.2
	第9回	1,043	3.7	17.7	31.1	47.1	0.4
ス ウ ェ ー デ ン	第1回						
	第2回						
	第3回						
	第4回						
	第5回	1,001	4.9	22.1	44.6	28.5	-
	第6回						
	第7回	1,054	2.5	8.6	30.5	58.4	-
	第8回	1,000	2.6	10.1	29.1	58.2	-
	第9回	1,528	2.4	11.2	41.2	43.4	1.9

¹ 「第5章 集計結果 2. 4か国単純集計結果」参照。

(4) 老後の経済生活に対する備え (Q13)

50歳代までに、老後の経済生活に備えて特にしていたこととしては、日本では、「預貯金」(54.6%)が最も高く、次いで「個人年金への加入」の割合が24.0%である。

アメリカとドイツでも、「預貯金」(アメリカ62.7%、ドイツ59.3%)の割合が最も高い。アメリカでは、次いで「債券・株式の保有、投資信託」が52.2%で続く。スウェーデンでは、「個人年金への加入」の割合が48.8%で最も高く、「預貯金」が42.4%である。

一方、「特に何もしていない」の割合は、日本(27.1%)とスウェーデン(27.2%)で3割近い。(図表3-4-4)

図表 3-4-4 老後の経済生活に対する備え

		n	預貯金	個人年金への加入	債券・株式の保有、投資信託	不動産取得(賃貸収入を得るための不動産の取得等)	貴金属の保有(金、宝石等)	老後も働いて収入が得られるように職業能力を高める	その他	特に何もしていない	無回答	(%)
日本	第1回											
	第2回											
	第3回											
	第4回											
	第5回	1,158	57.9	27.6	6.2	7.9	0.2	14.7	1.9	26.4	-	
	第6回	842	55.5	19.0	6.8	5.2	0.1	6.9	1.9	34.9	-	
	第7回	1,183	51.5	18.2	7.8	5.5	0.4	5.0	1.4	39.0	-	
	第8回	1,105	46.6	19.6	7.1	5.0	0.5	6.4	1.4	42.7	0.1	
	第9回	1,367	54.6	24.0	13.5	4.3	0.8	12.7	3.2	27.1	2.9	
アメリカ	第1回											
	第2回											
	第3回											
	第4回											
	第5回	1,002	66.4	46.4	35.5	20.0	3.3	12.3	1.9	16.7	0.8	
	第6回	1,000	64.7	39.8	39.6	19.9	3.0	8.8	1.3	19.5	0.2	
	第7回	1,000	59.2	44.4	36.9	20.8	5.4	16.7	2.0	20.5	1.3	
	第8回	1,003	56.7	42.6	33.2	15.9	5.6	13.8	4.3	20.9	-	
	第9回	1,006	62.7	45.7	52.2	23.1	9.3	27.1	7.0	12.4	-	
ドイツ	第1回											
	第2回											
	第3回											
	第4回											
	第5回	1,046	49.4	7.3	10.0	10.1	0.4	5.2	2.7	38.1	0.3	
	第6回	1,023	58.8	14.7	12.8	19.5	0.7	6.5	3.1	26.5	0.2	
	第7回	1,004	62.1	15.2	16.8	22.4	1.3	10.1	1.5	23.7	0.9	
	第8回	1,008	56.9	15.7	13.5	21.4	2.8	8.0	3.3	26.1	0.9	
	第9回	1,043	59.3	21.4	17.4	29.8	4.6	11.9	3.7	22.3	0.9	
スウェーデン	第1回											
	第2回											
	第3回											
	第4回											
	第5回	1,001	28.5	18.1	14.8	5.2	0.8	1.5	0.2	53.1	0.1	
	第6回											
	第7回	1,054	27.0	47.9	28.4	6.1	0.4	1.6	1.9	36.9	-	
	第8回	1,000	29.7	56.7	40.5	6.8	0.7	3.2	3.1	25.4	-	
	第9回	1,528	42.4	48.8	32.5	4.7	0.9	1.3	3.5	27.2	2.0	

(5) 老後の備えとしての現在の貯蓄や資産の充足度 (Q14)

老後の備えとしての現在の貯蓄や資産の充足度をみると、日本ではほぼ4人に1人が「まったく足りないと思う」(25.3%)と回答しており、「やや足りないと思う」(30.2%)を合わせると、過半数は現在の貯蓄や資産では、『足りない』と回答している。

これに対して、欧米3か国では、「十分だと思う」もしくは「まあ十分だと思う」と回答した『十分だと思う』(アメリカ67.1%、ドイツ64.3%、スウェーデン61.9%)の割合が6割を上回っている²。(図表3-4-5)

図表3-4-5 老後の備えとしての現在の貯蓄や資産の充足度

		n	社会保障で基本的な生活は満たされているので、資産保有の必要性がない							無回答
			十分だと思う	まあ十分だと思う	やや足りないと思う	まったく足りないと思う	わからない	(%)		
日本	第1回									
	第2回									
	第3回									
	第4回									
	第5回	1,158	2.8	7.2	30.7	32.0	17.1	10.2	-	
	第6回	842	1.8	12.6	32.2	30.3	15.0	8.2	-	
	第7回	1,183	1.6	13.0	28.5	34.7	18.3	3.9	-	
	第8回	1,105	1.3	10.4	27.0	34.9	22.1	4.3	-	
	第9回	1,367	1.0	6.6	27.2	30.2	25.3	7.5	2.2	
アメリカ	第1回									
	第2回									
	第3回									
	第4回									
	第5回	1,002	7.4	25.2	32.6	14.7	15.0	4.0	1.1	
	第6回	1,000	3.7	28.1	38.4	16.6	9.0	4.0	0.2	
	第7回	1,000	4.6	21.8	36.1	18.5	16.0	3.0	-	
	第8回	1,003	2.7	30.8	38.0	13.1	11.8	3.7	-	
	第9回	1,006	4.8	33.9	33.2	10.3	9.7	8.1	-	
ドイツ	第1回									
	第2回									
	第3回									
	第4回									
	第5回	1,046	22.3	18.6	29.4	15.0	10.1	4.5	-	
	第6回	1,023	11.1	22.6	34.3	17.5	8.5	5.6	0.4	
	第7回	1,004	14.4	29.9	30.7	16.2	6.4	2.4	-	
	第8回	1,008	14.3	32.7	33.6	12.6	5.4	1.4	-	
	第9回	1,043	13.1	33.7	30.7	12.9	5.8	2.6	1.2	
スウェーデン	第1回									
	第2回									
	第3回									
	第4回									
	第5回	1,001	0.9	17.4	48.9	16.5	6.3	10.1	-	
	第6回									
	第7回	1,054	8.6	26.5	45.8	10.4	2.8	5.8	-	
	第8回	1,000	6.7	29.0	43.7	14.3	4.6	1.7	-	
	第9回	1,528	6.7	21.8	40.1	11.5	4.6	12.8	2.5	

² 「第5章 集計結果 2. 4か国単純集計結果」参照。